

企画セッション

[SL2] 特別講演2

医療分野の ICT化とデータヘルス改革の取組（医療等分野の情報連携
基盤を中心に）

2018年6月23日(土) 10:55 ～ 11:55 第1会場 (2階・メインホール)

[SL2] 医療分野の ICT化とデータヘルス改革の取組（医療等分野の情報連携
基盤を中心に）

武田 俊彦（厚生労働省 医政局長）

医療分野の ICT 化とデータヘルス改革の取組 (医療等分野の情報連携基盤を中心に)

武田 俊彦
厚生労働省 医政局長

- 未来投資戦略等に基づき、個人・患者本位で、最適な健康管理・診療・ケアを提供するための基盤として、医療情報連携のためのネットワークを全国展開し、初診時等に本人の同意の下で患者の基本的な情報が医療機関、薬局等で共有できるよう、2020年度からの稼働を目指しています。
- 医療機関、薬局等の保健医療従事者間の連携を一層推進するためには、共有することが有効なデータ項目を整理し、これらのデータ項目について、標準規格の実装を促進することや、有効なデータ項目でありながら、標準規格が策定されていないものは、標準規格の策定を促進することが重要です。
また、各地域の医療情報連携ネットワークの構成は様々であり、患者を中心に、病院、診療所、薬局等のデータが双方向で共有できるネットワーク構成が重要と考えます。さらに、ネットワークが持続可能かつ拡張性のあるネットワークである必要があります。
- 現在、医療等情報連携基盤検討会において、有識者や関係者のご意見をうかがいながら、今年の夏を目途に工程表を整理すべく、議論を進めています。その際、費用負担に見合った便益を得られるサービスやネットワークをどのように構築していくか、が課題です。
- 今年度、調査・実証事業を行いながら、検討を進める予定です。保健医療記録共有サービスの実証事業では、医療機関、薬局等のレセプトデータ、電子カルテデータの一部を収集・保管し、閲覧できる試作システムを構築し、技術面・運用面の課題を抽出する予定です。また、ネットワークのセキュリティ対策強化のための調査・実証事業では、関連技術調査等を行った上で、ネットワーク基盤の構成を検討し、セキュリティ要件やガイドラインの検討を行う予定です。
- いずれにしても、医療等分野の情報連携基盤として、医療機関、薬局等にとってコスト負担に見合った便益のあるサービスやネットワークを構築し、患者・国民が実感できる具体的なメリットのあるサービスが展開できる基盤となるよう、検討を進めてまいります。